

組 合 各 位

全 国 海 運 組 合 連 合 会

新6級海技士（航海）養成課程 海技大学校出願期間、並びに総連合会 事前受付期間、訂正方お願い

標記受付期間につきましては、1月17日付 全海運企画発第25号にて、総連合会事前受付期間を2月12日～2月29日正午、また海技大学校出願期間を3月3日～3月7日とご案内致しましたが、その後 総連合会より海技大学校の出願期間が2月26日～3月3日と1週間早まったことに伴い、総連合会事前受付についても締切を2月25日正午までとする旨、別紙の通り通知がありました。

（講習期間〔3月18日～7月8日〕に変更はありません）

また、募集人数が 当初の20名から24名と増員となりました。

つきましては、甚だお手数をおかけし申し訳ございませんが、あらためて関係文書を送付致しますので、関係組合員各位へ再度ご周知頂きますとともに、既事前申込者各位へ海技大学校出願期間の変更等ご通知方宜しくお願い致します。

尚、受講資格・事前受付用提出書類（写）は、下記の通りで、変更はございません。

記

- 入学願書（写）
- 卒業証明書
- 健康状態表
- 内航海運事業者雇用（内定）証明書
- 乗船履歴のある場合は、乗船履歴を記載した書類（別添）

申請要件

- ・内航海運事業者に雇用（雇用見込み〔内定者〕を含む）されている者
- ・学歴・・・船員教育機関以外の高等学校以上を卒業した者。
従って、専門学校・大学以上の学歴も可。
- ・年齢・・・原則として40歳未満とするが、30歳以下が好ましい。
（申込み状況によっては、若年者を優先する場合有り）

以 上

事務連絡
平成20年1月28日

内航大型船輸送海運組合
全国海運組合連合会
全国内航タンカー海運組合
全国内航輸送海運組合
全日本内航船主海運組合

事務局御中

日本内航海運組合総連合会
船員対策委員会 事務局

平成20年度第1回 新6級海技士(航海)養成課程 募集要項案内

先般、事務連絡(1月15日)にて、ご案内致しました平成20年度第1回海技士教育科海技専攻課程海技士コース(6級航海専修)「新6級海技士(航海)養成課程」の募集要項が纏まりましたので、お知らせいたします。

- 講習期間：平成20年3月18日(火)～7月8日(火)
- 出願期間：平成20年2月26日(火)～3月3日(月)
- 募集人員：20名(今回は24名まで受入予定)

前回事務連絡にてお知らせ致しました通り、事前に日本内航海運組合総連合会内での取り纏めを行い、実施機関に連絡致しますので、宜しくご協力願います。
応募につきましては各組合にて取り纏めの上、内航総連「船員対策委員会事務局」まで、下記要領にてご連絡願います。

※事情により出願期間が一週間早められた為、取り纏め締切日を25日といたします。

- ①内航総連 事前取り纏め受付期間：2月12日～2月25日(正午)
- ②連絡事項：出願者(受講者)氏名 生年月日 住所 最終学歴 学校名 所在地
卒業年次 雇用者(内定も含む) 企業名 所在地 担当者/連絡先等
- ③提出書類：入学願書、乗船履歴(乗船履歴の有る場合)、卒業証明書、
雇用(内定)証明書等の写し一式

※「健康状態表」については、海技大学校入学前に、このフォームで健康診断を受ければ、入学時の予備身体検査と航海訓練所の実習における入所手続きが1回の検診で済みます。
受診機関は船員法施行規則第57条に定める医師。(国土交通省の下記HP参照)

国土交通省ホームページ
船員の健康証明制度のご案内
<http://www.mlit.go.jp/kaiji/kenkou/index.html>

指定医師の一覧表
http://www.mlit.go.jp/kaiji/medical/medical_.html

※募集要項の中で「・・・六級海技士(航海)試験の受験資格が得られます。」とは、身体検査を含む受験のことで、学科試験、口述試験は免除されます。

※学費の内、その他諸経費(69,000円)につきましては、相当額を内航総連より教育機関に助成金として寄付致しますので、内航総連傘下事業者に雇用或いは内定されている者に関しては徴収を免除されます。

添付：海技士コース(六級航海)学生募集要項
海技大学校 入学願書 健康状態表 乗船履歴(乗船履歴を有する者のみ)

海技士教育科海技専攻課程

海技士コース(六級航海専修)学生募集要項

海技士コース(六級航海専修)は、内航海運事業者には雇用されている方(内航海運事業者には雇用される見込みの方(内定者)を含む。)であって、船員教育機関以外の高等学校を卒業した方又はこれと同等と認められる方を対象に、船舶職員となるために必要な教育訓練を実施します。

教育訓練のスタイルは座学1.5月と練習船による乗船実習2月(独立行政法人航海訓練所)を効果的に組み合わせた方法で進められます。

座学と練習船による乗船実習を修了すれば、六級海技士(航海)の養成施設修了証明書、海技免許講習修了証明書、第二級海上特殊無線技士講習修了証明書を発行します。その後、雇用されている船会社の船舶で6月の乗船勤務を行えば、六級海技士(航海)試験の受験資格が得られます。



(海技大学校)

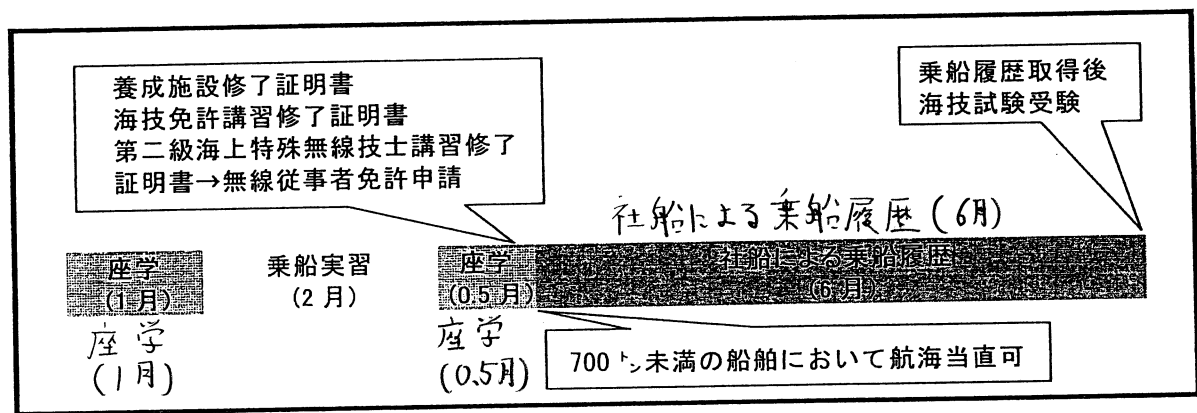
1. 募集科・募集人員・修業期間

海技士コース（六級航海専修）	20名	3.5月
----------------	-----	------

（注意）応募者が15名未満の場合は開講しません。

2. 修学方法

修学期間 平成20年3月18日（火）～平成20年7月8日（火）
原則として日曜日、国民の祝日は休講となります。



教育訓練スキーム

座学 1.5月のうち、前期1月及び後期0.5月は海技大学校（芦屋市）で実施します。

乗船実習2月は、独立行政法人航海訓練所の練習船で実施します。

3. 入学資格

内航海運事業者に雇用されている方（内航海運事業者に雇用される見込みの方（内定者）を含む。）であって、船員教育機関以外の高等学校を卒業した方またはこれと同等と認められる方。

4. 特 典

- ・修了後、6月の乗船勤務を行えば、六級海技士（航海）試験の受験資格が得られます。
- ・修了後、丙種甲板部航海当直部員の認定を受けることができます。
- ・在学中に海技免許講習及び第二級海上特殊無線技士講習も受講します。

5. 出願手続等

（1）出願期間 平成20年2月26日（火）～3月3日（月）

(2) 提出書類等

- (イ) 入学願書 所定の用紙に本人が記入したもの
(ロ) 健康状態表 所定の用紙を使用し、国土交通大臣の指定する医師の診断を受診して下さい。
(ハ) 写真6枚 (縦3.0cm × 横2.4cm) 3枚
(縦3.0cm × 横3.0cm) 3枚
※最近3か月以内に撮影の上半身脱帽正面で、いずれも裏面に氏名及び志望科名「6級航海専修」を明記して送付して下さい。
(ニ) 高等学校卒業証明書またはこれと同等と認められる証明書
(ホ) 内航海運事業者雇用(内定)証明書

6. 入学許可

平成20年3月7日(金)
入学案内等を本人に送付します。

7. 入学時期

平成20年3月18日(火)

8. 学費等

総額： 約33万円

内訳： 授業料	111,700円
教科書代	20,000円
宿泊費(食費を含む。)	86,000円(通学の場合は不要です。)
作業服、安全靴	13,000円(座学時に使用)
傷害保険料	7,500円
乗船実習委託料	6,000円
乗船実習厚生費	10,000円
その他諸経費	69,000円

(注) 上記の金額は概算です。

作業服、安全靴をお持ちの方はご持参ください。(購入不要です。)

なお、上記以外に別途、航海訓練所練習船の乗下船(予定：長崎港乗船、神戸港下船)にともなう交通費等が必要です。

講習実施場所及び宿泊場所

〒659-0026 兵庫県芦屋市西蔵町12番24号

独立行政法人海技教育機構 海技大学校

TEL 0797(38)6211 FAX 0797(32)5955

URL <http://www.mtc.ac.jp>

e-mail kyoumu@mail.mtc.ac.jp

海技大学校 入学願書

			番号	
海技専攻課程 海技士コース(六級航海)			入寮希望の有無	
			芦屋校	入寮・通学
			児島校	入寮・通学
			船員保険被保険者証 記号・番号	
			船	
ふりがな		男	生年月日	昭和 平成
氏名	Ⓜ	女	本籍地	年 月 日
ふりがな				
現住所	〒 -			
	電話 () -	自由記入 携帯電話等 () -		
貴大学校 海技士コース(六級航海) へ入学を希望します。 平成 年 月 日 独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 殿				

履 歴 書	最終学歴	学校名		卒業(中退)年月日			
		高等学校		科	平成	年 月 日	卒業 中退
					平成	年 月 日	卒業 中退
	所属会社	会社名			職名		
		会社住所	〒 - 電話 () -				
			免状種類	取得年月日	免状番号		
		小型船舶操縦士免状	級小型船舶操縦士	昭和 平成 年 月	第 号		
	無線従事者免許		昭和 平成 年 月	第 号			

授業料等の納入	振込
担当部署及び担当者名	
振込用紙送付先	〒 - 電話 () -

本書類に記載された内容については、教育指導、授業料の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡のみに使用します。

健康状態表

よりがな 氏名	S・H			年月日	日生
性別	(男・女)				
連絡先	住所	電話	-		

既往症・手術歴
1. 現在又は過去にかかった病気(目・耳・鼻疾患を含む)や外傷について

病名	時期	治療内容 (入院, 手術, 服薬など)	現在の状況 (完治, 服薬中, 経過観察中など)
	才		
	才		

2. 今までに受けた手術(検疫名, 時期, その後の状況など)について

3. 現在の自覚症状や気になる症状

注) 上記は、本人が記入すること。
「身体検査合格標準表」
次の各号の一に該当するものは不合格とする。

- 次の伝染病にかかっている者
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウィルスであるものに限る。)、痘毒、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、コレラ、細菌性赤痢、ジフテリア、腸チフス、パラチフス、腸管出血性大腸菌感染症、アメーバ赤痢、ウェストナイル熱、黄熱、オウム病、回帰熱、急性ウイルス性肝炎、急性脳炎(日本脳炎を含む)、Q熱、クリプトスポリジウム症、後天性免疫不全症候群、高病原性鳥インフルエンザ、サル痘、ジアルジア症、髄膜炎菌性髄膜炎、デング熱、日本紅斑熱、梅毒、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、開放性肺結核、B型肝炎、ブルセラ症、猪帯チフス、マラリア、野兔病、レプトスピラ症、開放性肺結核
- 視覚機能、言語機能又は精神の機能の障害により実習を適正に行うにあたって必要な認知、判断及び意志疎通を適切に行うことができないと認められる者
- 第一号に掲げる疾患を除く下記の疾患にかかっている者で船内において治療の見込みがなく、かつ、実習に適さないと認められる者
各種結核性疾患、新生物、糖尿病、心臓病、脳出血、脳梗塞、肺炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、肝硬変、慢性肝炎、じん臓炎、急性心臓血管障害、てんかん、重症ぜんそくその他の疾患
- 下記の視力、聴力及び聴力の標準に達しない者
(1) 視力(万国視力表により検査した視力で矯正視力を含む。)両眼又は単眼で0.4号を明視しうることを。
(2) 聴力 両耳で、5メートル以上の距離で話し声を聴取できること。
(3) 聴力 男子の聴力は、左右ともに2.5キログラム以上、女子の聴力は、左右ともに1.7キログラム以上であること。
- 色覚に異常を有する者(機関科を除く)
- 運動機能の障害により実習を適正に行うことができないと認められる者
- 病後の衰弱により、一定期間内の実習に適さないと認められる者

血液型 (ABO式/Rh式)	/
----------------	---

計測・検査記録

検査年月日				
身長				
体重				
胸囲				
血圧	/	/	/	/
視力 右/左 (矯正視力)	(/)	(/)	(/)	(/)
聴力 右/左	/	/	/	/
握力 右/左	/	/	/	/
肺活量				
色覚				
四肢運動 「身体検査合格標準表」6に係る検査				

検査年月日				
胸部X線検査	見			
尿	蛋白			
糖				
ウロビリノーゲン				
その他	*			
現症及び注意事項等				
医師所見				
担当医師印				

注) 1. 表面の「身体検査合格標準表」に基づき、医師が必要と認めた諸検査等を実施し、必要に応じ診断書を添付する。
2. *印の欄は、医師が必要と認めた検査又は、特に指定した検査の結果を記入する。

乗船履歴

(船員手帳の有無 有・無)

過去14年以内の履歴を、最近のものからさかのぼり記入してください。

船員手帳等で確認し、記入してください。

船舶の用途 船舶の名称	総トン数	機関の種類 及び出力	航行区域 従業制限	船主氏名 又は名称	職名	乗船又は就業の 年月日	下船又は終業の 年月日	乗船又は就業の 期間
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	Kw				年 月 日	年 月 日	年 月 日
合 計								年 月 日